

「春季大祭」成井理事長挨拶

「春季大祭」、誠におめでとうございます。

麗らかな春の光のもと、桜の花が川面に揺れる美しい季節となりました。

本日は、午前・午後合わせて約4,500名の皆さまとご一緒に、メシアの御名にある大祭を執り行わせていただけますこと、主神と、主神と共におられる明主様に、衷心より感謝申し上げたいと存じます。

本日の祭典には、教主様にご出座くださっています。

教主様には、私ども世界中の信徒を、真の明主様の救いの道へとお導きくださっておりますこと、誠にありがたいことと心より御礼申し上げます。

また、本日は、教主夫人であります岡田まゆみ様と、教主補佐・岡田真明様にご臨席いただいておりますので、ここでご紹介させていただきます。

まゆみ奥様、真明様、恐れ入ります、どうぞお立ちくださいませ。

ありがとうございました。

後ほど、真明様にはご挨拶をいただきます。よろしくお願い申し上げます。

そして、本日は、南米のボリビアからジョルジェ・ウエマ教会長がご参拝になっております。ここでご紹介させていただきます。

ウエマ先生、どうぞお立ちください。盛大な拍手でお迎えさせていただきますましょう。

ありがとうございます。

ボリビア教会は、今年2月、理事会の全会一致の意思として、教主様と一つ心に歩むという力強い声明文を世界に向けて発信されました。

中南米におきましては、昨年10月、教主様中心のブラジル「世界メシア教」が発足しましたが、前後して、メキシコ教会理事会でも教主様と共に歩む決議がなされ、さらに、コロンビア教会でも、すべての信徒が同様に決意を表明されました。

また、ペルーでは、信徒が中心となり、「世界メシア教」名の教会を立ち上げられたと伺っています。

そうした中であって、今年7月には、教主様がブラジルへご巡教になります。

私どもは、教主様のご教導により、メシアの御名の真実に目覚められた海

外信徒の皆さまとも心を合わせ、主神が明主様を通してお示しくださっている真の信仰へと、夢と希望をもって前進してまいりたいと存じます。

さて、先般の「豊穰祈願祭」の折にお伝えしましたように、世界救世教①之光教団は、三年に一度の役員改選を終え、「代表役員認証式」において“教主様のご認証”を賜り新しい執行部が発足し、心新たに新年度からのご神業奉仕に臨ませていただくこととなりました。

また、同時に、白澤代表をはじめとするいつのめ教区におかれましても、「どこまでも教主様と一つ心に」という合言葉をもって歩まれる全国の信徒の皆さまのご支援のもと、昨年5月の発足以来様々な体制が整えられ、新年度のご神業奉仕に向かわれることとなります。

今月13日には、①之光教団総本部ご神前において、教主様のご出座を仰ぎ、①之光教団の新執行部といつのめ教区の推進委員の皆さまと共に、「新体制発足『奉告参拝』」を執り行わせていただきました。

そして、教主様のもと、①之光教団といつのめ教区が、より一層強固な連携・協働体制をもって新たな出発をさせていただきました。

私は、この度の新体制の発足にあたり、自らの心の中心に深く刻ませていただいたことがございます。

教主様は、「代表役員認証式」の折、次のようにお言葉をくださいました。

私どもは、自分たちの進むべき方向と方針を定め、状況を判断し、話し合いを行いながら、物事を決定し、それを実行に移しておりますが、教団という組織の中で、教主の認証が必要であると定められているということは、こうした様々な判断や決定を人間だけの判断や決定で終わらせるのではなく、自分たちで判断し、決定したことを、明主様にご奉告し、明主様のみ心をお受けしようとするのが、いかに大切なことであることを示していると思います。

主神は、ご自身の創造のみ旨を成し遂げるために、私どもの思いをお使いになって、常に働きかけ、私どもと交流なさろうと努力してくださっていると思います。

そのために、主神は、私どもが明主様を通して主神にご奉告することを赦してくださっていると思います。

この大きな愛にお応えし、私は、どんな些細なことの中にも、主神の赦しと養いがあることを認めて、感謝し、何事も明主様と共にあるメシアの御名にあって、主神にご奉告し、主神に心に向けさせていただくことが大切な御用であると感じております。

教主様は、このようにご教導くださいました。

私は、“教主様のご認証”という行為が、如何に神聖な行為であり、尚且つ重要な行為であるのかを、改めて自らの心の中心に銘記させていただきました。

神様が、私どもを子どもとするために交流してくださっていること、私どもに神様へのご奉告を赦してくださっていること、そして、私どもが神様のみ旨をお受け出来るようにしてくださっていること、などについて、大いなる目覚めをいただくことが出来ました。

私は、“教主様のご認証”を通して、こうした真に尊い神様の赦しをお受けして、はじめてお使いいただいているものであることを決して忘れないように、新たな任期を務めさせていただくことをお誓い申し上げます。

私どもは、自らが、主神の新しい段階の創造の御業に気づかせていただいたものではありません。

神様の計り知れないほどの大きな赦しのもとに置いていただき、明主様と共にあるメシアの御名にあって、そして、教主様を通して、はじめて神様の真に尊い親心とも言える本当のみ旨を知ることが出来たものであります。

このことを通して、私は、自らが赦されなければならなかった存在であったことを、深く肝に銘じておかなければと思わせていただきました。

そして、自らのうちに、メシアの御名にある神様の赦しをお受けしていることが、本当はどれだけ大きなことであるのか、たとえその一端にでも気づかせていただけるものでありたいと心から思わせていただきました。

また、同時に、私は、このように思わせていただけることにつきましても、神様が、人間本位に生きてきた私自身のうちに、メシアの御名にある愛と赦しに気づくことの出来る新しい心を置いてくださっているからこそ、だからこそ、気づくことが出来たのだと受け止めさせていただいております。

ですから、私は、教主様に、そして、教主様を通して明主様にお仕えさせていただく新しい執行部の方々に対しましても、私と共に、新しい出発に際

して教主様より賜りましたお言葉を真に受け止めて、新たな任期に臨んでくださいますようお願いさせていただきました。

世界救世教⑤之光教団は、主神が明主様を通してお示しくださっている真の信仰をお受けするために、教主様のご教導を唯一絶対無二の拠り所とし、全人類に対する新しい段階の救いの御用に、ひたむきに嬉々としてお仕えさせていただく宗団であります。

来月には、「教主様アメリカご巡教」が実現致します。

明主様は、昭和28年(1953年)に、「アメリカを救う」という御論文をご発表になりました。

私は、教主様によって明主様の真の救いの扉が大きく開かれた今、「アメリカご巡教」が実現することとなり、「世界信徒大会」が開催されますことは、たいへん大きな慶事であり、極めて意義深きことと拝察申し上げます。

私は、⑤之光教団の皆さまをはじめ、白澤代表を中心とするいつのめ教区の皆さまと共に、そして、東方之光教区の皆さまと共に、さらには、いつのめ教区に繋がる、ブラジル「世界メシア教」をはじめとする世界中の皆さまと共に、主神が明主様と共に進む真の信仰の道を、大いなる希望を抱き歩ませていただきたいと存じます。

本日は、この後、「神様の子どもとなるために 神様をお讃えする メサイア ハレルヤコーラス」と題するビデオ上映に続いて、教主補佐・岡田真明様よりご挨拶をいただきます。

そして、教主様のお言葉を賜ります。

皆さま、どこまでも教主様と一つ心に、真に新しい出発をさせていただきますましょう。

教主様のお出ましの前に大切な時間を賜りましたことに感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。